

# 中学校国語科授業・実践研究グループ研究会

グループ員：朝井 満里奈	(東 中学校)	廣 一登	(松崎中学校)
河野 智文	(西 中学校)	横内 愛	(松崎中学校)
新立 隼也	(西 中学校)	山下 葉月	(松崎中学校)
有木 里奈	(西 中学校)	兼山 美由紀	(荒牧中学校)
柳原 百	(南 中学校)	二宮 啓二	(荒牧中学校)
川上 史子	(南 中学校)	山岡 永美	(笹原中学校)
山中 眞紀	(北 中学校)	窪田 えみか	(笹原中学校)
武田 烈幸	(北 中学校)	小林 滉大	(笹原中学校)
阪田 彩香	(北 中学校)	仲上 寛紀	(天王寺川中学校)

担当指導主事：長谷 慎一

キーワード：主体的・対話的 深い学び 指導案検討 授業力向上

## 1 研究テーマ

「主体的・対話的で深い学びを支える言語力の育成」

## 2 研究内容

### (1) 授業力の向上に向けて

個々の教師が授業を行う中で、課題や疑問に感じていることなどを共有し、課題に対する改善策を検討した。また、授業力の向上に向けた討議を行った。

#### ① 課題解決に向けての討議

グループ員が日々の授業を行う中で感じた課題について話しあった。本時の目標と評価の一致や、定期考査における発問の取捨選択、グループワークの進め方など、それぞれが持つ課題に対して意見を出しあった。

#### ② 新学習指導要領の実施に向けて

指導要領の改訂に向けて、各々が持つ疑問について討議した。評価の観点の違いに伴うシラバスの改訂や、評価の仕方などにふれ、今後より高い意識をもって取り組む必要があることを再確認した。

### (2) 指導案・研究発表の内容検討

グループ員一人一人の授業力向上を目指し、令和2年度に伊丹市で開催される国語科研究大会阪神大会に向けた指導案・研究発表の内容検討を行った。

#### ① 指導案検討

オブザーバーとしてベテランの教員にも加わっていただき、授業の目的から評価に至るまで、研究テーマに則して話し合いを進めた。

#### ② 研究発表の内容検討

伊丹市中学校国語科としての取り組みを振り返り、各校で実践してきた成果を共有した。



### 3 成果と課題

#### (1) 成果

- ① グループ員一人一人が持つ課題を、学校間や年齢間の壁を越えて、多角的な目線で話し合うことができた。
- ② 指導案検討には、若手からベテランまで参加することで、幅広い意見を交わすことができた。

#### (2) 課題

- ① グループ員一人一人が持つ課題の改善に繋がるような研修を行うなど、課題解決に向けた取り組みが必要であると感じた。
- ② 新学習指導要領の実施が迫る中で、「どのような準備をするべきか」など自ら学ぶ姿勢が必要であると改めて感じた。
- ③ 学校間を越えた情報共有の場を、より多く設けなければならない。
- ④ 検討した指導案を各校で実践してもらい、出てきた課題を検討するなどの、研究発表会を意識した取り組みを行う体制を整えなければならない。
- ⑤ より多くの教員が参加できるよう、開催日数を増やしたり日時の検討をおこなったりする必要がある。